

## 患者の皆様へ

2016年7月1日  
血液内科

現在、血液内科では、「移植後シクロホスファミドを用いた血縁者間 HLA 半合致移植の全国調査」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では移植後シクロホスファミドを用いた血縁者間 HLA 半合致移植を行った患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「移植後シクロホスファミドを用いた血縁者間 HLA 半合致移植の全国調査多施設共同後方視的研究 - AMED PTCY 16 -」

2. 研究の意義・目的 「同種造血幹細胞移植は血液悪性疾患に根治をもたらしうる有用な治療法ですが、適切なドナーがいなければ実施することはできません。同種造血幹細胞移植に最も適しているのは血縁または非血縁の HLA 適合ドナーですが、HLA 適合ドナーが見つからない場合には臍帯血移植または血縁者間 HLA 半合致移植が行われている現状があります。近年、HLA 半合致移植のひとつの方法として移植後シクロホスファミドを用いた血縁者間 HLA 半合致移植が急速に普及してきている現状があることから、全国規模において後方視的に調査を行うことといたしました。この結果のより移植後シクロホスファミドの本邦における位置付けを明らかにし、よりよいドナー選択を行うことを目的としています。」

3. 研究の方法

○対象となる患者さん

2012年1月～2015年12月の期間に移植後シクロホスファミドを用いた血縁者間 HLA 半合致移植を受けた患者さん

○利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、移植前後の病気の状態、GVHD や感染症など移植後合併症の有無、移植後シクロホスファミドの投与量・投与タイミングに関する情報、移植後シクロホスファミドに伴う合併症の有無に関する情報、入院期間・医療費に関する情報など

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、匿名化されたうえで、研究代表施設である北海道大学病院血液内科医局内の特定のキャビネットに施錠した状態で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関：千葉大学医学部附属病院

本件のお問合せ先：医学部附属病院血液内科

医師 塚田 恵美子

043(222)7171 内線 6678 (血液内科 受付)

研究責任者：北海道大学大学院医学研究科血液内科学分野 医師 豊嶋崇徳